

定番はある？ない？

校長 Sr. 大山 江理子

今は日本の暦では「寒中」、寒い日が続いていますが、子どもたちは外で遊んだり、体育をしたり、元気に活動しています。4日の学習発表会に向けての練習にも励んでいます。今年は舞台での発表を2学年ずつですが、保護者の皆さまにもご覧いただくことになって、子どもたちも張り切っています。

「定番」という言葉があります。「〇〇なら、××」のような、この場合にはこれを選べば安心、というお決まりの選びで、これなら間違いがないと保証を感じていたり、迷わなくて楽ととらえているかもしれません。「定番」というには、選ばれるものの評判が決め手になっているかもしれません。

この言葉が気になるのは、子育てや教育には、これをしてあげば安心という「定番」はないのではないかと感じるからです。子どもの未来に安心を与えたい、という願いは自然なものです。もちろん、子どもの発達には段階やプロセスがあり、年齢相応の歩みを「めやす」や「指標」として示すことはできます。しかし、それは何歳になったからこのようにならなくてはというのではなく、個人差のあるものです。〇〇に到達するために〇〇さえやっておけば、という簡単なものではありません。

とは言え、これは学習の目標とは異なります。学習の目標は、単元や活動、作業ごとに、何をするか、何を学び、どのようなスキルを習得するか明確に設けられています。この場合はやるべきことが明確で、そこに到達するためにステップごとに手順を踏んで、しっかりと自分のものにする必要があります。順を追って身につけていけば、獲得できるものは大きいです。それでもやはり、これさえしておけば安心、という定番は残念ながらなさそうです。

では、長い目で見て、子どもの将来のためにこれさえあればというものは、やはりないのでしょうか。不安定な世界で、確かな未来を保証する安心なものはあるのでしょうか。聖マグダレナ・ソフィアに尋ねてみたら、どうでしょう。

「定番とは何ですか」とまず逆に問われてしまいそうですが、「目に見えるものの中にはないでしょうね」と答えられるのではないのでしょうか。そして、「イエスのみこころを大事になさい」と言われるかもしれません。そこで、そんな定番の答えをしなくてください、現代の世界では、心の教育だけでは、この現実の厳しさを乗り越えることはできません、と反論してみたいくなります。そうしたら、「もちろん、知性の訓練も、現実的なスキルも大事に決まっています。しかし、それだけで生きられますか？不安定な時代だからこそ、どのような状況でも生きていかれるように、土台となる心、ものごとをしっかりと受けとめる内面性がなければなりません。目に見えないからこそ、型もなく、限界もなく、どのような状況でも対応できるのです。それを大切に育てていくことが、子どもへの最大の贈りものです」と答えられるのではないのでしょうか。

目に見えないものを育てるには、それは目に見えないものなのですから、目に見え、耳に聞こえるものをたよりに、しっかり見て、聞いて、心で感じ取り、相手とのあいだで丁寧に対話しながら、確かめるようにして築いていくしかないのかもしれませんが。「定番商品」は完成されたものとして手に入れることができます。しかし、聖マグダレナ・ソフィアの「定番」の獲得には、なんと手間がかかることでしょうか！



1/28の朝、木についでいた氷

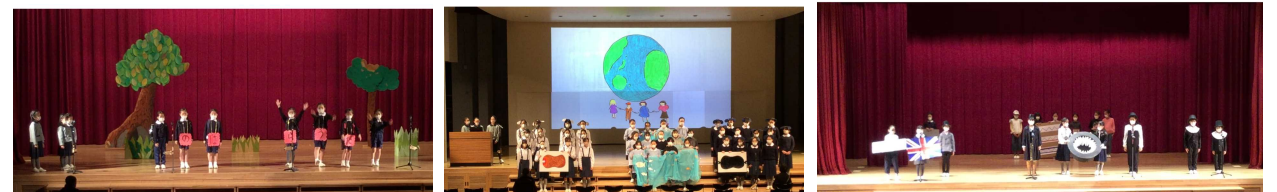


冬本番の厳しい寒さが続きますが、初等科では学習発表会を今週末に控え、どの学年も準備や練習に一層励んでいるところです。社会的に新型コロナウイルス感染症が始まってから、動画での発表や規模を縮小した展示発表の形で学習発表会を行ってきましたが、保護者の方々をお招きしての舞台発表は実に4年ぶり、コロナ以降初めての開催となります。ようやくこの時が来たという喜びと共に、久しぶりでしかもマスクをつけての舞台・・・私たち教員にとっても、経験のないチャレンジとなりました。マスクで顔の表情が見えづらいのでどのように表現したらよいか、マイクを使うならどのように舞台上で動くか、動作や立ち位置も試行錯誤を重ねて考えました。

苦勞もありますが、それでも自分の声や体を使って表現することは大切な活動なので、見てくださるお客様にお伝えできるように、子どもたちと共に練習に取り組んでいます。声や体を使った活動は、表現力の根幹をなす大事な要素を磨くことにつながるといいます。コロナ禍による行動制限によって表現力が失われてしまわないように、意識して活動することは重要です。実際に、マスクによって口を動かさなくなり、滑舌が悪くなったり音程が下がったりする状況が見受けられます。ひいては、表現しようという意欲まで減退しないように、表現する機会を大切にしていきたいと思っています。学習発表会が一つの有意義な機会になることを期待しています。

1年生から4年生の学年発表は、生活科やみこころの時間に学習したり研究したりしたことを中心にまとめています。子どもたちの気づきや意見を発表に入れたり、子どもたちからのアイデアを生かして発表の仕方を考えたり、まさに総合的な学習となっています。限られた発表時間ではすべてを網羅することはできませんが、その奥にある学習の軌跡も感じていただければ嬉しく思います。卒業生からは、「一人ひとりのセリフは短くても、みんなで取り組んだ内容なので、他の人のセリフも覚えるくらい印象深く心に残っている」という声も耳にします。そして、保護者の皆様にご覧いただけることは子どもたちにとって大きな励みになり、達成感や自信につながります。当日に向けて、私たちも頑張っています。

【総練習の様子】



2月の行事予定

3日(金)	学習発表会児童観覧日	10日(金)	3年保護者会
4日(土)	学習発表会	11日(土)	建国記念の日
5日(日)	学習発表会予備日	13日(月)	1年保護者会
6日(月)	学習発表会代休日	14日(火)	5年みこころ発表会(3-5限)・5年保護者会
8日(水)	2年保護者会	15日(水)	～16日(木) 6年卒業研究発表会
9日(木)	4年まとめのテスト(1・2限) 私学半日研修 (3限まで授業・午後は家庭学習)	20日(月)	4年保護者会
		22日(水)	灰の水曜日
		23日(木)	天皇誕生日
		28日(火)	6年カトリック音楽会

